

**令和4年度インターネットアンケート調査結果**  
**調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】**

- 調査期間 : 令和4年（2022年）12月20日（火曜日）～12月23日（金曜日）
- 調査方法 : インターネット（クローズ型）
- 設問数 : 全35問
- 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 480人  
 性別内訳（男性：240人 女性：240人）  
 年齢別内訳（30代以下：120人 40代：120人 50代：120人 60代以上：120人）

**Q1. あなたの性別を教えてください。**

	回答数(n)	割合(%)
1 男性	240	50.0
2 女性	240	50.0
3 その他	0	0.0
全体	480	100.0

**Q2. あなたの年齢をお答えください。**

	回答数(n)	割合(%)
1 30歳代以下	120	25.0
2 40歳代	120	25.0
3 50歳代	120	25.0
4 60歳代以上	120	25.0
全体	480	100.0

**Q3. あなたは、犬や猫が好きですか。**

	回答数(n)	割合(%)
1 両方とも好き	255	53.1
2 犬は好きだが猫は好きではない	84	17.5
3 猫は好きだが犬は好きではない	43	9.0
4 両方とも嫌い	19	4.0
5 興味がない	79	16.5
全体	480	100.0

**Q4. あなたは、動物（ペット）を飼ったことがありますか。**

	回答数(n)	割合(%)
1 今も飼っている	124	25.8
2 以前飼っており、また飼いたい	79	16.5
3 以前飼っていたが、もう飼うつもりはない	101	21.0
4 飼ったことがないが飼ってみたい	42	8.8
5 飼ったことがなく、今後も飼うつもりはない	134	27.9
全体	480	100.0

**Q5. どんなペットを飼育していますか（していましたか）。又は、どんなペットを飼育したいですか。あてはまるものをすべて教えてください。（いくつでも）**

	回答数(n)	割合(%)
1 犬又は猫	275	57.3
2 犬猫以外の哺乳類	25	5.2
3 鳥類	58	12.1
4 爬虫類	18	3.8
5 両生類	18	3.8
6 その他	31	6.5
7 飼育しておらず、今後も飼うつもりはない	148	30.8
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q6. あなたは、札幌市民全体に動物愛護の精神が広まっていると思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	22	4.6
2 どちらかというと思う	69	14.4
3 どちらでもない	242	50.4
4 どちらかというと思わない	74	15.4
5 思わない	73	15.2
全体	480	100.0

Q7. あなたは、札幌市全体の、犬の飼い主のマナーは良いと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	20	4.2
2 どちらかというと思う	133	27.7
3 どちらでもない	188	39.2
4 どちらかというと思わない	85	17.7
5 思わない	54	11.3
全体	480	100.0

Q8. あなたは、札幌市全体の、猫の飼い主のマナーは良いと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	19	4.0
2 どちらかというと思う	117	24.4
3 どちらでもない	240	50.0
4 どちらかというと思わない	66	13.8
5 思わない	38	7.9
全体	480	100.0

Q9. あなたは、札幌市内のペットショップやペットホテルは適正に運営されていると思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	12	2.5
2 どちらかというと思う	94	19.6
3 どちらでもない	289	60.2
4 どちらかというと思わない	48	10.0
5 思わない	37	7.7
全体	480	100.0

Q10. あなたは、札幌市が「人と動物が幸せに暮らせるまち」だと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	21	4.4
2 どちらかというと思う	134	27.9
3 どちらでもない	247	51.5
4 どちらかというと思わない	45	9.4
5 思わない	33	6.9
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q11. Q10で「どちらかというと思わない」または「思わない」と答えた方にお聞きします。  
あなたが、札幌市が「人と動物が幸せに暮らせるまち」だと思わない理由を教えてください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 飼い主等のモラルやマナーの課題	53	67.9
2 虐待事例等の多発	21	26.9
3 ペット業者や動物愛護団体等のあり方に関する課題	26	33.3
4 都市開発事情や住環境等の課題	22	28.2
5 野生動物との共生に関する課題	24	30.8
6 動物愛護管理施策への不満	15	19.2
7 その他	3	3.8
全体	78	100.0

Q12. あなたの周りで、動物に関するトラブルは多いと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 多い	15	3.1
2 どちらかという和多い	50	10.4
3 どちらでもない	172	35.8
4 どちらかというと少ない	130	27.1
5 少ない	113	23.5
全体	480	100.0

Q13. あなたは、札幌市民全体に動物愛護の精神を広めていくためにはどのような普及啓発事業が重要だと思いますか。  
（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 多くの動物関係団体が集まる大規模なイベント	100	20.8
2 啓発パネル展	54	11.3
3 出前講座	37	7.7
4 適正飼養講習会（飼い主向け）	226	47.1
5 適正飼養講習会（飼育開始前）	172	35.8
6 動物愛護教育（幼稚園等の未就学児）	150	31.3
7 動物愛護教育（学校等）	173	36.0
8 しつけ教室	239	49.8
9 災害対策講習会	67	14.0
10 その他	23	4.8
全体	480	100.0

Q14. あなたには、動物に関する相談や学習ができる場所がありますか。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 講習会等	33	6.9
2 行政等の発行物	37	7.7
3 書籍	72	15.0
4 インターネットやSNS	170	35.4
5 知人など	92	19.2
6 ない	126	26.3
7 したいと思わない	104	21.7
8 その他	10	2.1
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q15. ペットに関する講習会等は、どのような場所で行われれば参加しやすいと思いますか。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 保健所・動物管理センター	125	26.0
2 区役所・区民センター	207	43.1
3 ペットショップ	185	38.5
4 町内会館など地域のコミュニティ	149	31.0
5 したいと思わない	138	28.8
6 その他	11	2.3
全体	480	100.0

Q16. ペットに関する講習会等で、どのようなことを学びたい（聞きたい）と思いますか。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 適正飼養（飼い方の基本やルール・マナー）に関すること	202	42.1
2 ペットの病気や健康管理に関すること	210	43.8
3 ペットのしつけ方に関すること	212	44.2
4 ペットの災害対策に関すること	134	27.9
5 他の人のペットで迷惑を被っているときの対処法や対処事例	153	31.9
6 ペットに関する法令等のルール	162	33.8
7 学びたいことはない	135	28.1
8 その他	3	0.6
全体	480	100.0

Q17. 動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、令和4年6月1日から犬・猫へのマイクロチップの装着・登録が一部義務化（犬猫販売業者は義務、一般飼育者は努力義務）されたことを知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 はい	278	57.9
2 いいえ	202	42.1
全体	480	100.0

Q18. 札幌市動物管理センターが行っている次の業務のうち、「センターが行っている」ということをあなたが知っているものをすべて選んでください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 動物愛護に係る幼児向け情操教育（どうぶつあいご教室）	17	3.5
2 動物愛護や適正飼養に係る市民教育（出前講座等）	22	4.6
3 飼い主や動物取扱業者等への指導	49	10.2
4 犬猫の引取りと保護	156	32.5
5 収容動物の応急治療	46	9.6
6 収容動物の譲渡	137	28.5
7 必要に応じた収容動物の殺処分	129	26.9
8 施設を知らない・わからない	278	57.9
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q19. あなたが札幌市の動物愛護管理行政において、十分に行われていると思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。(3つまで)

	回答数(n)	割合(%)
1 動物愛護や適正飼養の普及啓発（イベント、パネル展等）	8	1.7
2 動物愛護や適正飼養に係る市民教育（出前講座等）	8	1.7
3 困りごと相談	18	3.8
4 犬の飼い方指導	19	4.0
5 猫の飼い方指導	6	1.3
6 野良猫の餌付けに対する指導	8	1.7
7 動物取扱業者への指導	14	2.9
8 迷い犬猫の保護	50	10.4
9 飼えなくなった動物の引取り	57	11.9
10 保護動物の譲渡	48	10.0
11 殺処分を減らす取組み	49	10.2
12 負傷動物の保護	17	3.5
13 負傷動物の治療	7	1.5
14 災害対策	4	0.8
15 ペットの火葬	48	10.0
16 十分に行われているのはこの中にはない	24	5.0
17 わからない	293	61.0
全体	480	100.0

Q20. あなたが、札幌市の動物愛護管理行政において、もっと力を入れて欲しいと思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。(3つまで)

	回答数(n)	割合(%)
1 動物愛護や適正飼養の普及啓発（イベント、パネル展等）	31	6.5
2 動物愛護や適正飼養に係る市民教育（出前講座等）	31	6.5
3 困りごと相談	43	9.0
4 犬の飼い方指導	49	10.2
5 猫の飼い方指導	23	4.8
6 野良猫の餌付けに対する指導	49	10.2
7 動物取扱業者への指導	56	11.7
8 迷い犬猫の保護	51	10.6
9 飼えなくなった動物の引取り	77	16.0
10 保護動物の譲渡	84	17.5
11 殺処分を減らす取組み	131	27.3
12 負傷動物の保護	30	6.3
13 負傷動物の治療	20	4.2
14 災害対策	42	8.8
15 ペットの火葬	24	5.0
16 力を入れて欲しいと思うものはこの中にはない	5	1.0
17 わからない	168	35.0
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q21. 現在、収容動物の福祉の向上、市民の利便性向上等を目的として、札幌市動物管理センターの本所・支所を統合した新施設である仮称)札幌市動物愛護センターの建築事業(令和5年度中竣工予定)を進めています。あなたは、仮称)札幌市動物愛護センターに対して、どのようなことを期待しますか。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 啓発活動の拡充	58	12.1
2 動物愛護教育事業の充実	83	17.3
3 困りごと相談	85	17.7
4 飼い主や業者等への指導の充実	141	29.4
5 犬猫の積極的な保護引取り体制の整備	140	29.2
6 法に基づかない動物(犬猫以外)の保護・引取り体制の整備	86	17.9
7 動物の譲渡の推進	145	30.2
8 負傷動物の保護・治療	83	17.3
9 災害対策(啓発や災害時の動物保護拠点)	83	17.3
10 特になし・わからない	177	36.9
11 その他	2	0.4
全体	480	100.0

Q22. あなたは、「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」を知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 名前も知っているし、内容まで知っている	12	2.5
2 名前だけ知っている	77	16.0
3 知らない	391	81.5
全体	480	100.0

Q23. 次のうち、動物管理センターが譲渡希望者を募集しても良いと思う動物はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 人に危害を加える可能性が高い動物	91	19.0
2 治療等をしていても回復の見込みのない負傷動物	101	21.0
3 感染症(人にも感染する)の動物	92	19.2
4 感染症(人には感染しないが収容している他の動物に感染する)の動物	99	20.6
5 この中のどの動物も譲渡希望者を募集すべきではない	253	52.7
全体	480	100.0

Q24. 次のうち、殺処分してもやむを得ないと思う動物はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 人に危害を加える可能性が高い動物	212	44.2
2 治療等をしていても回復の見込みのない負傷動物	145	30.2
3 感染症(人にも感染する)の動物	249	51.9
4 感染症(人には感染しないが収容している他の動物に感染する)の動物	142	29.6
5 この中のどの動物も殺処分すべきではない	156	32.5
全体	480	100.0

Q25. 動物管理センターの収容動物について、札幌市が費用を負担してどこまで治療すべきだと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものをひとつだけ選んでください。

	回答数(n)	割合(%)
1 軽傷まで	44	9.2
2 応急処置まで	117	24.4
3 一般的な治療(各動物病院で受けられる程度)まで	211	44.0
4 専門的な治療(専門病院や大学等で受けられる程度)まで	63	13.1
5 治療しなくてよい	45	9.4
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q26. 譲渡対象となった収容動物について、譲渡する相手が決まるまでに、札幌市が費用を負担してどのような対処をすべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 健康診断	198	41.3
2 トリミングやシャンプー	114	23.8
3 予防接種(混合ワクチン)	264	55.0
4 避妊去勢手術	184	38.3
5 しつけ	158	32.9
6 専門家による訓練	75	15.6
7 マイクロチップの装着・登録	184	38.3
8 上記のような対処は必要ない	73	15.2
全体	480	100.0

Q27. あなたは、動物管理センターから犬猫を譲り受けたいと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 はい(ペットショップやブリーダーからの購入より優先したい)	146	30.4
2 はい(ペットショップやブリーダーからの購入の方がよい)	61	12.7
3 いいえ(譲り受けたいと思わない)	273	56.9
全体	480	100.0

Q28. あなたが動物管理センターから犬猫を譲り受けるうえでの懸念事項又は譲り受けたいと思わない理由として最も当てはまるものを1つ教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 犬猫の健康状態に保証がない	85	17.7
2 犬猫の性格(攻撃性含む)に保証がない	30	6.3
3 犬猫の年齢が不確かであり将来の想定が難しい	22	4.6
4 しつけや馴致に自信がない	46	9.6
5 先住動物との相性が不安	27	5.6
6 家庭の飼育環境へ順応できるか不安	44	9.2
7 希望する品種の個体がない・品種に保証がない	17	3.5
8 犬猫を飼いたいと思っていない	169	35.2
9 センターの印象が悪い	15	3.1
10 その他	25	5.2
全体	480	100.0

Q29. 地域猫活動やTNR活動は、地域が主体となり野良猫を管理しながら減らしていく手段として、全国で普及しつつある方法です。あなたはこれらの活動について、知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 知っていて、それぞれ説明できる	14	2.9
2 名前は知っていた	88	18.3
3 知らなかった	378	78.8
全体	480	100.0

Q30. あなたのご近所で、野良猫を見かけますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 よく見かける	18	3.8
2 時々見かける	98	20.4
3 ほとんど見かけない	199	41.5
4 全く見かけない	165	34.4
全体	480	100.0

令和4年度インターネットアンケート調査結果  
調査テーマ【人と動物が幸せに暮らせるまちについて】

Q31. あなたは、地域に野良猫がいることについてどう思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 望ましいことだと思う	22	4.6
2 不妊手術等の適切な管理がなされた状態なら望ましいことだと思う	127	26.5
3 望ましくないことだと思う	237	49.4
4 どちらでもいい	94	19.6
全体	480	100.0

Q32. あなたは、野良猫について、どのようなトラブルが心配だったり、迷惑だと思ったりしますか。あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 糞尿	249	51.9
2 エサやりによるゴミ	148	30.8
3 エサやりによる野生動物(キツネ、カラス等)の集合	152	31.7
4 無秩序な繁殖	210	43.8
5 鳴き声	94	19.6
6 子供への危害	72	15.0
7 アレルギーなどの健康被害	71	14.8
8 死体の処理	127	26.5
9 車や車庫への入り込み	127	26.5
10 交通事故	158	32.9
11 その他	3	0.6
12 特に心配や迷惑に思ったことがない	81	16.9
全体	480	100.0

Q33. あなたのお住いの地域に、地域猫活動、TNR活動のような飼い主のいない猫に係る活動は必要だと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 はい	261	54.4
2 いいえ	103	21.5
3 不要だが、興味関心はある	116	24.2
全体	480	100.0

Q34. あなたは、札幌市の避難所が同行避難※を受け入れ、必要に応じて避難所ごとにペットの飼育場所を設置する体制(ペットの存在を理由に避難を断らない)であることを知っていますか。同行避難はペットの存在を理由にした要避難者の避難控えや、ペットの犬猫の逸走による野良化を防ぐ観点で環境省により推奨されています。  
※同行避難:「ペットを連れて避難所等の安全な場所に避難する行動」のこと。避難所でペットと同室で過ごすことではありません。

	回答数(n)	割合(%)
1 はい	169	35.2
2 いいえ	311	64.8
全体	480	100.0

Q35. 避難所でペットの飼育管理を行うにあたっては、これまでの災害対策の事例から、飼い主が行うべき日ごろからの備え等として、しつけ(ケージ等係留器具への慣らし、オイデやマテなどの制御、犬であれば無駄吠え対策)・ペットフードやペットのトイレ用品等の備蓄・ペットの不妊手術・ペットの定期的なワクチン接種やトリミング等による衛生管理・首輪やマイクロチップ等による所有者明示等が重要であるとされています。あなたは、これらの「飼い主が行うべき備え」について、札幌市による普及啓発活動が十分であると思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う(ペットの飼い主に十分に災害対策が浸透している)	33	6.9
2 どちらかというと思う	67	14.0
3 どちらでもない	174	36.3
4 どちらかというと思わない	102	21.3
5 思わない(ペットの災害対策について市民に周知されていない)	104	21.7
全体	480	100.0